

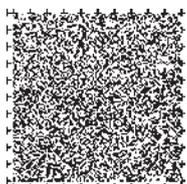


みんなの議会



平成29年9月6日に焼失した旧松田館が約5年かけて復元され、令和5年3月25日、新名称「千曲市武水別神社神官松田邸」となり千曲市の博物館として開館します。

千曲市のこんなことが決まりました	2
一般質問	4
議案	11
請願・陳情	12
委員会視察調査報告・研修会報告	13



(音声コード)

令和4年12月定例会

千曲市のこんなことが決まりました。

■ 会期 17日間 (11月29日~12月15日)

12月定例会の議案は

市長提出議案 36件
 委員会提出議案 4件
 請願・陳情 7件

議案等の審議の結果は、千曲市ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。賛否が分かれた議案の各議員の賛否は、市議会ホームページの「議会日程」の中で公表しています。

Pick up 1

インボイス制度の実施延期を 求める請願を審査

令和5年10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式として「インボイス制度」が開始される。この制度では、年間課税売上高が1千万円以下の免税事業者もインボイス登録が求められるため、コロナ禍で消費低迷が続く中、小規模事業者に税負担や事務負担を強いる本制度の開始延期を求めるもので、委員会として全会一致で採択すべきものと決した。

インボイス制度が開始されることによる事務負担は。

免税事業者は消費税の納税義務がないため、仕入税額を計算する必要はなかったが、この制度により課税事業者になることで、経理の事務処理が非常に煩雑化することが予想される。

インボイス制度導入による影響は。

国は、税の公平性という観点からインボイス制度を導入すると推察するが、事業者の税負担が増えることなどにより困窮する可能性は十分あると考える。

請求書		
(株)〇〇御中 XX年11月30日		
11月分	131,200円	(税込)
日付	品名	金額
11/1	小麦粉 ※	5,400円
11/1	牛肉 ※	10,800円
11/2	キッチンペーパー	2,200円
∴	∴	∴
合計		131,200円
10% 対象	88,000円	(消費税 8,000円)
8% 対象	43,200円	(消費税 3,200円)

※ 軽減税率対象品目
 △△商事(株) 登録番号 T1234567890123

適格請求書 (インボイス)

福祉環境 常任委員会

Pick up 2

子どもの福祉医療費給付金の 対象範囲が「15歳まで」から 「18歳まで」に拡大

これまで0歳から中学校卒業までの子どもを対象に、医療費の自己負担の一部を助成してきたが、子育て世帯のより一層の負担軽減を図るため、対象年齢が18歳到達後の3月31日まで引き上げられる。

これはどのような制度か。

医療機関の窓口で受給者証を提示すれば、子どもの医療サービスが、上限額500円で受けることができるもの。

いつから対象が18歳までになるか。

令和5年4月から。

周知の方法は。

市報1月号やホームページなどで市民に周知するが、新たに対象となる方には1月中に申請書を送付するの
で、手続きをしていただきたい。



子育て世帯の医療費負担が軽減される

Pick up 3

建設経済 常任委員会

Pick up 3

(仮称) 屋代スマートIC 準備段階調査に着手

令和4年9月、国土交通省より(仮称)屋代スマートICの新規準備段階調査への着手が発表された。これにより、国での直轄調査が実施される。関係機関と検討・調整をし、実施計画書を策定。この実施計画書が国に提出され、新規事業化箇所として認定されると事業化着手の運びとなる。

スマートIC整備事業の検討業務委託料とは。

準備段階調査に移行したことで、その協議の中で必要となる業務委託料である。

その具体的な業務の内容は。

具体的には、必要となる交差点をどういう形にするか、またスマートICにどういった雨水調整池が必要になってくるか、それらを検討するための業務発注を予定している。

※スマートインターチェンジII 高速道路の本線やサービスエリア・パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるETCを搭載した車両専用のインターチェンジ。



スマートICの設置が検討されている屋代地区



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

個人質問

市議会議員個人が、市政全般にわたって、市長・教育長等の方針・考え方などについて答弁を求めるもの。

今定例会では、

13名の議員が質問しました。

千曲市議会公式ユーチューブチャンネルで、一般質問の全ての内容を動画で視聴することができます。

ぜひご覧ください。

(動画は一般質問の約2週間後から配信されます。)



議会公式チャンネル

千曲市議会ユーチューブ

検索



一志会
吉池 明彦

防災減災と危機管理について

最悪の事態は堤防の決壊だ。基準や指針から外れた暫定堤防の強靱化が必須だ。波消しブロックの増設や矢板の埋設等早急に対策すべきだ。

令和3年に土砂崩れのあった周辺の堤防は、重要水防箇所指定され、市も洪水リスクの高い区間及び路面損傷の留意箇所として、国との合同巡視をしている。越水・堤体漏水・基盤漏水の危険性の共通認識を図り、地元の不安な声を今後も国へ伝えていく。



令和3年6月、大雨で土砂崩れのあった堤防道路（大正橋から戸上中の間）
堤防法面が基準に満たない暫定堤防及び重要水防箇所（令和4年12月撮影）

避難所整備と防災機器対応は。備蓄は計画通り、電話応答は今年度完備、デジタル防災無線は現在57局が設置済み、今期7局増設する。

サイバーセキュリティ及び行政BCP対応は万全か。

セキュリティ対策をより高度にするため、県の対策に加え、市独自のセキュリティソフトを導入している。

今期の実施計画の進捗と課題は

市道一重山2号線は。

境界や幅杭確認は立会済み、用地単価説明会を開催、一層丁寧な情報公開を行う。課題は移転補償と交付金を含む財源確保。

(仮称)屋代スマートインテリジェンスは。

国が準備段階調査着手箇所に選定、国・県・市・警察等による準備会を開催。今後地区協議会が実施計画を策定し、国が事業化を判断する。課題は総事業費と市の負担分。

【その他の質問】

○文化伝承創造都市について
○令和5年度予算編成について

で、自治体が多様な施設を単独で整備し維持するのは財政的に大きな負担。隣接する自治体が、スポーツ施設を含め公共施設を共有するという発想も必要だ。

市も検討課題と考えている。

自衛官募集の除外申請を可能に

市は、自衛官募集に関し、満18歳になる市民の生年月日・氏名等の情報を自衛隊に提供している。それを望まない人は、手続きをすることで名簿から除外する自治体が多くある。千曲市もそれを認めるべきだ。

法令に基づいて提供している。今はその考えはない。



日本共産党千曲市議員
中村 恒彦

なぜ総合運動公園か

運動公園は全体面積が15ha以上、運動施設が20〜50%、緑地面積が30%以上という基準がある。そのため河川敷エリアが出てきたのか。運動公園ではなく、単独で運動施設等を作るのでは補助率はどう違うか。

いずれも補助率は2分の1。有利な補助事業を活用する。

河川敷の開発は慎重に

大雨で被害を受ける河川敷には施設を造るな、の声が多い。河川敷エリアの対岸には、戸倉千曲川緑地公園がある。水流が妨げられ水害が起こりかねない。

河川の断面等を配慮しながら計画する。

隣接自治体と互いの施設を共用するという発想は

人口減少と価値観の多様化



千曲市総合運動公園構想
市民の参加でよりよい公園に



一志会
川嶋 敬信

屋代南高校存続へ市の対応について

全市的な対応が必要でスピード感を持って対応をするということだったが、内容は、「屋代南高校を発展させる会」を中心に、この会の意向を踏まえ、市としてすべきことを積極的に進めていく。

半年での部長異動人事について

10月1日付け人事の理由は、ふるさと納税は一定の成果が得られることから、更埴文化会館のスプリングラー改修工事、歴史文化財センターの移転、粟佐分室の解体工事等、喫緊の課題が山積している文化課と歴史文化財センター所管の、「文化創造担当部長」を配置した。

建設コンサルタント業務と物品購入の違いについて

建設工事・コンサルタントと物品購入とは。



高校再編対象となった屋代南高等学校



一志会
田中 秀樹

学びの充実のために

発達障がいなど特性ある児童生徒が増えている。本市の状況は。

発達障がいとされる児童生徒は増加傾向にある。校内体制を整え、全教職員で必要な支援や合理的な配慮についての共通理解を図り支援にあたっている。また、必要に応じて特別支援教育支援員を配置し、児童生徒個々の特性に応じた学習や生活のサポートを行っている。

GIGAスクール構想の今後の展開は。

ベストミックスの考えが重要だ。長年培ってきた教育実践の蓄積を重んじつつ、デジタルを取り入れ、これを生きていく児童生徒が情報やICT機器を適切に活用する力を高めていく。また、児童生徒がインターネット社会の一員として、自身で考え、よりよい社会を築くための判断・行動ができる。

「デジタル・シブズンシップ教育」にも力を注ぐ。中学生とのお出かけシエナートークから得られたヒントは。

生徒からは「駅のトイレを明るく」「避難所のよりわかりやすい看板表示」「通学路への防犯灯設置」「自習スペースを増やして」など様々な意見・要望をいただいた。これらについては十分研究し、できることから着手していきたい。



楽しく学び、創造性を育む
GIGA スクール構想

【その他の質問】

○国のモデル事業・実証事業の活用について

補助事業の要件を満たすこととなる。一重山2号線の整備が加速すれば一重山線全線の早期開通にも追い風となるので、準備段階調査移行を受け、今後は一重山2号線南側の先線においても道路線形等の調査を始めていく。地元の声を届ける期成同盟会も大変重要であり、組織づくりに関して検討している。



自由政策研究会
林慶太郎

道路行政について

（仮称）屋代スマートICが新たに準備段階調査へと着手された。早期事業化を目指してどのように取り組むか。

国の事業であるスマートIC整備を計画的かつ効率的に進めるための準備会が、11月25日に初めて開かれた。この準備会での検討・調整を経て、関係機関で構成される地区協議会で決定した実施計画書が提出されれば、国が新規事業化を判断することとなる。早期事業化に向け、引き続き国に働きかけていく。

Q

今回の準備段階調査移行、さらに、事業化に進めば、都市計画道路一重山線の早期開通にも大きく影響すると考える。早期開通にむけてどのように臨んでいくか。

A

（仮称）屋代スマートICが事業化されれば、一重山2号線が重要路線として個別



東西を結ぶ一重山線の早期開通を
(長野県立歴史館前)

【その他の質問】

○地域おこしについて
○文化創造について



自由政策研究会
聖澤 多貴雄

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトについて

激甚化する災害から千曲市を守るための進捗状況は。

河道掘削は上下流のバランスをみて鋭意進めている。堤防強化は両宮地区より着手して篠ノ井橋に向けて実施している。遊水地は、植生・平和橋・塩崎ともに治水安全度が向上するように国と一体となり進める。

ホームページ内での情報発信の強化を。

杭瀬下地区の護岸復旧工事など、国の事業や災害危機管理情報も含め、より丁寧にプロジェクト等のお知らせができるようにわかりやすいホームページ等の作成と情報発信に努める。

インフルエンザワクチン予防接種の費用補助について

未就学児までの対象範囲拡大はいかがか。

13歳未満は2回接種が必要



公明党
柳澤 眞由美

「0〜2歳児」への支援充実のために

「出産・子育て応援交付金」が国で創設された。これは妊娠・出産時に一人10万円相当の経済的支援を行う自治体へ交付するもので、令和4年4月に遡って支援できる。千曲市でも4月以降の出産への支援は準備できるのか。

「出産・子育て応援交付金」の国の説明が12月にある。対象となる4月以降出産された方に速やかに給付できるように準備する。

経済的支援は伴走型相談支援と一体的に実施することが効果的である。令和5年度以降交付金を活用し、0〜2歳児への伴走型支援の充実など更なる工夫をしてほしい。例えば産後ケア事業に宿泊型を新設できないか。

伴走型相談支援の充実は大変重要な課題と捉えている。次年度以降は子育て世代の

となるため各家庭にとっては大きな負担と思われる。他市の状況も注視しつつ、他のワクチンに対する補助の要請もあるので調整していく。

ウイズコロナでの経済対策について

新年に向け景気浮揚策は。国や県の支援が行き届きにくいところ、市特有の産業などを中心に切れ目のない支援、対策を講じていく。

屋代南高校存続について

今後の運動について。発展させる会、市民団体と協調し、引き続き一丸となった運動を展開すると共に、積極的に知事や県教育長に改めて切実な思いを届けていく。

【その他の質問】

○少子化対策・子育て支援について
○子育て世代に魅力的な市と捉えてもらえるまちづくりについて

声を聞き研究する。産後ケア事業の宿泊型は実施計画に上げ、実現できるように進めていく。

社会資本整備が人口誘導策に大きな効果

千曲線周辺は社会的資本整備が人口誘導策に効果が出ている。来年度、屋代スマートICから姨捨スマートICを結ぶ東西の道路整備の推進と、「西の玄関口」姨捨スマートICの周辺調査の予算を増額し、次の段階へ進めることが生産年齢人口増加へ重要な事業ではないか。

東西連携軸となる都市計画道路一重山線の整備に併せ、市の東西の玄関口の整備と18号バイパスの整備は喫緊の課題と認識し、次年度は姨捨スマートIC予備設計の基礎資料となる地形図の作成を実施していく。

【その他の質問】

○事業の行政評価とPDCCAの運用について



一志会
宮下 繁明

文化創造担当部長と学芸員について

文化創造担当部長を新たに任命した目的は何か。市の学芸員5名は他市と比べて少ない。文化財保護のためには学芸員を計画的に採用し育成すべきではないか。

市の将来像「文化伝承創造都市」を推進するために担当部長を配置した。学芸員の必要性を検証すると共に適正配置に努める。

第8回千曲川ハーフマラソンについて

4年ぶりに開催された千曲川ハーフマラソンの開催目的は何か。開催のための費用はいくらか。温泉街などコースの工夫や「おもてなし」で参加者に千曲市の魅力を発信すべきではないか。

千曲市の魅力を発信、交流人口の増加、健康増進が目的のスポーツの祭典。開催の総費用は2123万円。来年は千曲市政20周年の記



新政クラブ
北川原 晃

千曲市合併20年の検証

平成15年更埴市と戸倉町、上山田町が合併し来年9月に誕生20周年を迎える。成果と課題は。

毎年実施している市民意識調査では「生活基盤整備」「福祉・医療」「子育て環境」について、良くなったと感じる方の割合が高くなったという結果が出ている。合併以来、着実に進めてきた都市計画道路や公園の整備、小中学校の建替え・耐震化などのハード事業と、保育料の軽減や地域医療の確保充実を図るなどのソフト事業の成果だと考える。課題は少子高齢化を背景とした、市税の減収や社会保障費、インフラ資産の維持管理の増加があげられる。

千曲市民の「目」を制定してはどうか。

来年、市は市政20周年を迎え、市民の皆様と様々な記念事業の実施を予定している。

念大会になるので節目にふさわしい大会にする。

多面的機能支払交付金について

市内では荒廃農地が増えている。近隣の自治体のように「多面的機能支払交付金」を活用して農振農用地を守るべきではないか。

本制度は農道や水路の維持、草刈り等の共同活動を支援するもので、市内では7団体が取り組んでいる。面積は、156ha、農振農用地の約15%。より多くの団体が組織され活用できるよう最大限のお手伝いをする。

結婚新生活支援事業について

市内の婚姻数と出生数の推移は。結婚新生活支援事業の交付実績はどうか。所得制限400万円をなくすべきではないか。

昨年の婚姻数は163件。出生数は昨年331人。10年前と比較して90人減少している。交付実績は16件。所得制限の撤廃は難しいが、来年度は500万円まで拡大されるので研究する。

中学校の休日部活動の地域移行について

市民の一体感の醸成、郷土愛意識の醸成に意義のあるものである。市民から広く意見を伺い、他の自治体の事例も参考に検討していく。

来年度から3年間を目標に運動部と文化部の土日の部活動を民間のクラブや指導者に委ねる「地域移行」がスタートする。取り組み状況は。

関係する様々な団体やPTA、校長会、有識者からも意見を伺い、保護者への説明会を実施する。



平成15年、更埴市・戸倉町・上山田町が合併して千曲市が誕生した



公明党
滝沢 清人

危険空き家対策と空き家の有効活用

3月に質問した、管理不全で老朽化した危険空き家等の「緊急安全措置」について、その後の経過は。

現在「千曲市空き家等の適正管理に関する条例」の制定を進めており、その中で「緊急安全措置」も検討し、来年4月からの施行を予定している。

以前提案した、再建築不可地の空き家が、近隣活用が見込める場合、除却補助支援をして活用すべき、について検討経過と予定補助額を伺う。

現在「千曲市空き家等解体・跡地活用促進事業補助金交付要綱」を、解体事業が補助額100万円、補助率2分の1、跡地活用事業が補助額100万円、補助率10分の2で、来年4月運用に向けて検討している。



日本共産党千曲市議員
前田 きみ子

千曲市家庭教育支援条例は

千曲市家庭教育支援条例は、平成27年12月議会において、議員提案で成立した。これは家庭の中にまで行政が入って指導する内容で、当時共産党市議2名を含む3名の反対があったが可決した。長野県下で千曲市だけが条例を制定している。市長はこの条例についてどう考えているか。

この条例は、議員提案で賛成多数により可決された条例で、毎年度家庭教育を支援する施策を取りまとめ公表している。

学校給食費無償化について

小中学生は成長期であり体作りの重要な時期で、給食が1日の栄養摂取の大切な部分である。しかし、物価高騰、労働者の賃金が上がらないなど保護者の負担は大変である。給食費無償化

自然災害と防災レシリエンス

小中学校13校の備蓄リストは、最悪の災害を想定していないが、今後の備蓄計画を伺う。また、該当する各校舎に「5mの想定浸水深」を標示して、児童生徒をはじめ広く市民の防災意識高揚を図るべき。

備蓄倉庫などの収容量にも限りがあるが、今後、施設管理者と協議しながら計画的に配備を進める。各校舎への「5m想定浸水深」の標示については、関係機関と協議検討し、防災意識の醸成を図っていきたい。



5~10mの浸水域に建つ庁舎
5mの浸水は2階に達する

は待ったなしであるがいか

「経済的に就学が困難と認められる家庭」に対して学校給食費の定額支援から実費相当分に引き上げ支給している。また、今年度は食料費高騰分について地方創生臨時交付金を活用し、1食あたり15円を全員分公費負担している。



給食費無償化が望まれる給食お膳

【その他の質問】

○特別支援学級について
○介護保険について

千曲市特別職の職員の給与・ 議会政務活動費の改定について



新政クラブ
中村 眞一

「第三次千曲市総合計画」の「基本目標1」は「市民の安心、安全を守る」と「

Q 「災害時避難行動要支援者名簿」の改定は。

A 全地区で対象者全員の作成、更新が完了し地域支援者との日頃の関係づくりを推進する。

Q 「マイタイムライン（個人防災行動計画）」の作成状況は。

A 市報千曲9月号に「マイタイムライン作成シート」を折り込み、全戸配布したので各戸では非作成して欲しい。

Q 自分たちの地域は自分たちで守る

A 現在、6地区で完了、8地区で作成に向け検討中とい

う状況。全地区で早期策定に必要な支援を行っていく。

Q 洪水時の避難所の確保対策は

A 公共施設134施設で2万2千人強の収容と大きく不足している。洪水時の避難所の確保と民間事業所等との「特別緊急避難所」の協定は。

A 民間事業所等との協定は現在3施設で、今後も積極的に推進し、避難所の充実を図りたい。

Q 市内平地部のほぼ全域の浸水が想定されるが

A 大災害の発生に備え、「広域避難体制」を構築する必要も強く、他の市町村とも協力しながら研究をしていく。

Q その他の質問

○市長就任2年を経て、折り返し点でその成果と今後の課題について
○五加小の4教室増設と五加保育園の増築計画について



自由政策研究会
荻原 光太郎

Q 本市でもBPR（業務改革）が必要ではないか

A 申請窓口での苦情等はそのようなものか。

A 「待たされる」、「複数の部署を回らなければいけない」など、職員対応に関するものがある。

Q 市民と職員の満足度アップとミスの発生防止のため、BPRを取り入れてはどうか。

A 「自治体DXの要」とされ、行政サービスの向上や事務負担の軽減、業務の効率化が期待される一方、職員の負担や多大なコストがかからないか研究する。

Q 戸倉上山田温泉のまちづくり計画について

A 温泉街のダイナミックな再整備が必要だ。都市計画道路の整備と並行して宿泊施設の高付加価値化、温泉街の空き店舗や空き地などの有効活用、信州観光ホテル

の景観問題解決などを国の補助事業により一体化して行う必要がある。

A 多様な立場の方が協力して地域の目指す方向を決め、魅力あるまちづくりへの機運を高める必要があり、関係者と一緒に考えていく。

Q 「まちづくりアカデミー・アドバイザー」の活動内容は。

A 山田桂一郎氏は、観光課において職員を中心とした研修会を予定し現在調整中。「姨捨棚田を中心とした日本遺産」などの観光振興のアドバイスをお願いする。若狭清史氏には、地域防災拠点・道の駅の整備についてオンラインでアドバイスをいただいた。2月1日には地方創生をテーマとして職員対象の講演会を実施する。「戸倉上山田温泉のまちづくり」についても、両氏の活用を検討する。



反対討論
中村 恒彦

千曲市特別職報酬等審議会が市長や副市長、教育長、市議会議員の給与・報酬を引き上げるよう答申した。

今、新型コロナウイルスの災い、エネルギーや食料品価格の異常な高騰、歴史的な円安による企業の打撃等、市民や事業者が困難に直面している。一部高齢者の医療費が引き上げられ、年金は下がり、大企業が空前の内部留保をため込む一方で労働者の賃金は上がらない。私たち特別職も、新型コロナウイルス禍や物価高騰が一段落するまで、報酬等の引き上げは延期すべきだ。市民も、「景気が悪い時になぜ」「引き上げ幅も市民感情として納得できない」と疑問を感じている。よって条例案に反対する。

千曲市議会では、10月の千曲市特別職報酬等審議会答申に基づき今定例会に提出された、「市長、副市長、教育長の給料、市議会議員の報酬及び政務活動費の額を令和5年4月1日から改定する議案」を賛成多数で可決しました。
市議会は、議員報酬等の額を改定する理由について、次のように考えています。

- 地方創生、自治体間競争の時代にあつて、市民を代表する議事機関（憲法93条1項）として政策立案機能や行政監視機能を発揮する議会の役割はますます重要となつていくこと
- 令和2年の市議会議員選挙より、議員定数を22から20に削減しており、各議員には更なる資質向上と議員活動の専門性が求められること
- 現行の報酬の額は、人口規模や産業構造、財政力指数が類似する県内や全国の自治体と比較して低いこと
- 他の自治体においては報酬等の改定が適宜図られている中、千曲市においては平成26年以降改定がなされていないこと
- 議員のなり手不足を解消するとともに、働き盛りの世代や女性など多様な人材のチャレンジを促すこと

なお、審議会による答申の付帯意見で指摘された、「議会活動の一層の見える化」「開かれた議会の実現」「市民の納得を得られるアウトプット（成果）」については、今後の議会活動・議員活動や議会改革の取り組みの中でしっかりと応えてまいります。

※政務活動費は市議会議員の調査研究やその他の活動に資するため、報酬とは別に支給される公費。充当できる経費は条例で定められており、年度終了後には収支報告書が提出、公開される。

給料(月額)	従前	改定後
市長	860,000円	900,000円
副市長	702,000円	734,000円
教育長	609,000円	653,000円

議員報酬等(月額)	従前	改定後
議長	445,000円	478,000円
副議長	370,000円	412,000円
議員	345,000円	384,000円
政務活動費	10,000円	15,000円

採決結果
賛成多数で
議案第57号・58号は
可決。

請 願 陳 情

請願第4号 消費税「適格請求書（インボイス）方式」の実施延期を求める請願

採決結果：採択

インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施については経過措置が執られている。消費税納税を免除されている売上高1千万円以下の小規模事業者は来年からインボイス制度が実施されるが、6年間の経過措置が執られ、令和5年10月から令和8年10月まで80%控除、続いて令和11年10月まで50%控除される。また、現在の経済状況や事業者からの意見を鑑み、制度導入にあたり消費税を納める事を選んだ事業者に対し、3年間納税額を売上税額の2割に軽減する激変緩和措置が執られる。消費税は、皆さんが納めており税の公平性の立場からもインボイス制度導入は必要なものと考え、延期に反対する。



反対討論
柳澤 眞由美

請願第5号 「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願

採決結果：採択

陳情第5号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情

採決結果：採択

陳情第5号では、医療や介護現場における労働環境の抜本的な見直しを求めているが、労働環境については労働基準法によって定められ、これを遵守しない病院や事業者に対して、法律を遵守するよう求めていくことが最も重要な取り組みである。また、県庁近くに介護労働安定センターもある。賃金については十分とは言えないが、7万2千円の補助がなされ、徐々に改善されていくと考える。患者・利用者の負担軽減については、低所得者への負担軽減措置や、様々な制度によって負担軽減がなされ、介護保険料についても制度の中で軽減が図られている。今回の陳情は提出者への質疑応答も行えず、委員会で十分な審査が行われたとは言いがたく、反対とする。



反対討論
柳澤 眞由美

陳情第6号 小・中学生の健全な成長、発達のための教育活動を求める陳情

採決結果：採択

陳情第7号 学校の新型コロナウイルス感染症対策における黙食ルールの見直しを求める陳情

採決結果：不採択

陳情第9号 行政及び議会が宗教によって「政治的な差別」を行わないことを求める陳情

採決結果：聞きおく

※詳しくは、千曲市ホームページをご覧ください。賛否が分かれた議案の各議員の賛否は、市議会ホームページの「議会日程」の中で公表しています。

委員会視察調査報告・研修会報告

1

総務文教常任委員会

聖澤 多貴雄

11月17日～18日、『静岡県地震防災センター』視察。ふじのくに静岡県は、火山災害、風水害、地震津波災害など多くのリスクを抱え防災に対する取り組みの先進地である。近年、激甚化するこれら災害に対し、必要な知識と行動を体感できる展示から、防災情報発信と防災意識の啓発活動について調査した。

静岡県伊豆市役所では地域づくり協議会について視察。人口減少・厳しい財政状況・多過ぎる行政区や自治会という背景の中、地域が主体となり地域の課題を自ら考え解決するため、小学校区単位に全ての住民・企業・団体が参加し活動していることを学んだ。伊豆市からの活動支援として支援員の派遣と交付金制度の報告があった。



伊豆市役所での視察の様子



静岡県地震防災センターでの視察の様子

福祉環境常任委員会

倉島 さやか

11月14日～15日、埼玉県鴻巣市の自治体視察、自治体DXに取り組んでいる民間企業のアイリスオーヤマとソフトバンク本社を視察した。デジタルを活用して社会をよりよい環境へ変化させるといふ国の方針を基に、様々な取り組みの説明を受けた。公共交通、福祉等の業界では様々な課題が山積している。その課題をDXを活用して解決していくには、千曲市全体の課題等を一度棚卸しをして、効率よく取り組むことの大切さを学ぶ事ができた。

今回の委員会視察では初めて、視察中にオンライン（ZOOM）で千曲市役所と繋ぎ、担当部局の方々も参加し、視察内容をスムーズに共有する事ができた。今後も千曲市の福祉環境分野においては、確かな価値を創出していききたい。



アイリスオーヤマ株式会社での視察の様子



鴻巣市役所での視察の様子

建設経済常任委員会

中村 眞一

10月17、19日、先進地の行政視察を実施した。北海道石狩郡当別町では、恵まれた立地条件を活かした企業誘致の展開と優遇制度の充実・企業サポートについて学んだ。また、新駅設置・既存施設の活用など「新しいまちの顔」となるまちづくりへの取り組みを学んだ。その後、新駅のロイズタウン駅を視察した。

ふるさと納税の寄付額を5年で約8・8倍にした小樽市では、ふるさと納税に対する取り組みについて学んだ。千曲市のふるさと納税サイトを見ながら、小樽市担当者が気づいた点についてアドバイスを受けた。石狩市では、全国的にも珍しい3階建ての道の駅「あいろーど厚田」の現地視察をした。



ロイズタウン駅(請願駅)での視察の様子



小樽市役所での視察の様子

議員研修会

小玉 新市

10月29日(土)、午前は「何のための議会改革ですか」を全議員、午後は「議会発言クリニック(一般質問の質向上)」を新人・2期生を対象に取手市議会事務局次長 岩崎弘宜様に講師をお願いして議員研修会を開催した。取手市議会の改革の速さは全国に知られ、議会改革度ランキングが2年連続して1位になり、岩崎氏はその先導者として、多くの議会での講演を行っている。午前は千曲市議会の良いところ悪いところを書き出し、内容をチェックし、自らの議会を見直すことで変えなければならぬことを確認。午後は議員個々の一般質問を検証し、自ら調査し「何のために」「何を質したい・提案したいのか」を明確にする質問の在り方を実例を挙げて指摘を受けた。



総務文教常任委員会が
稲荷山宿・蔵し館を現地調査

10月13日、総務文教常任委員会で稲荷山宿・蔵し館の現地調査を行った。大規模改修工事により休館している館内の様子を見ながら、担当課から説明を聞いた。



稲荷山宿・蔵し館で館内の状況を見る

福祉環境常任委員会が
白鳥園を現地調査

10月31日、福祉環境常任委員会で白鳥園の現地調査を行った。指定管理者である山崎建設株式会社から現状・課題などを聞き、意見交換をした。



白鳥園で館内の説明を聞く

千曲市総合運動公園等に関する
特別委員会が視察調査

12月19日、千曲市総合運動公園等に関する特別委員会以南長野運動公園の視察調査を行った。各施設を見ながら、管理者であるシンコースポーツ株式会社の担当者から説明を聞いた。



南長野運動公園総合球技場での視察の様子

議会改革特別委員会が
松本市議会を行政視察

12月22日、議会改革特別委員会で松本市議会の行政視察を行った。議会基本条例に関することや議会改革の取り組み等について、担当者から説明を聞いた。



松本市議会での視察の様子



千曲市キャラクター
「あん姫」



吉野 雄輝さん
(内川)

住環境と防災について

私には妻と2人の子供がいます。実家は隣の長野市ですが、職場が近く、保育園や小学校が近くにあるなど子育てがしやすい環境に魅力を感じたため、昨年五加地区に家を建てました。市内には良い温泉がたくさんあり、また先日は千曲川ハーフマラソンに参加させていただくなど、今の環境は子供だけでなく、自分にとっても充実していると感じます。

住環境には満足していますが、今の場所に家を建てる際には災害への懸念もありました。2019年の台風19号の光景ははっきり覚えており、日ごろからハザードマップの確認や備蓄など、個人レベルでの備えはしているものの、台風シーズンには不安を感じます。

議会と行政には、近隣市町村との広域連携の強化や市内の民間企業との連携など、個人でできないレベルの防災対策を推進し、かつこれをすべての市民に行き渡るよう広報いただき、安心して暮らせる街づくりをお願いしたいと思います。

次回 3月 定例会予定

(会期 19日間)

日	月	火	水	木	金	土
2/26	2/27 本会議 開会	2/28	1	2	3	4
5	6 本会議 一般質問	7 一般質問	8 一般質問	9 一般質問 議案審議	10 委員会 総務文教	11
12	13 委員会 福祉環境	14 建設経済	15	16	17 本会議 委員長報告 討論・採決	18
19	20	21	22	23	24	25

※議事の都合により、日程が変更される場合があります。

議会を動画で見よう

本会議の様子は、約2週間後からパソコンやスマートフォンなどでご覧いただけます。



議会公式チャンネル

千曲市議会ユーチューブ

検索

議会を傍聴しよう

どなたでも傍聴できます。市役所5階の傍聴人受付簿に住所・氏名・連絡先を記入し入場してください。

詳しくは、市議会のホームページをご覧ください。



12月議会でも市内における地域間の格差と施策の集中について議論が交わされました。

今年は、平成15年に1市2町が合併し千曲市が誕生してから20年の節目の年になります。

議会では、道路などの基盤整備を均衡的に進めることはもとより、それぞれの地域の特性を活かしたまちづくりの実現のため、20周年の節目を契機として、千曲市の更なる一体感の醸成を市民の皆様と共に図ってまいります。

(金井 文彦)

議会広報特別委員会

- 委員長 田中 秀樹
- 副委員長 中村 恒彦
- 委員 金井 文彦
- 中村 眞一
- 滝沢 清人
- 吉池 明彦
- 川嶋 敬信
- 林 慶太郎